

# ピアノ作品解釈とキャリア研究 第12回

本学特任教授

## エリソ・ヴィルサラゼ ミニコンサート&公開レッスン

2025年 **11** 月 **28** 日 (金)

**15:50** 開演 (15:20 開場)

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス

**TCM** ホール

～ミニコンサート～

詳細未定

決まり次第、発表いたします。

～公開レッスン～

受講生：富澤ひかり 学部3年

受講曲目：R.シューマン：謝肉祭 op.9

★授業履修者は必ずレッスン曲の楽譜を持参すること。

— 入場無料 —

要申し込み

お申し込み (11月28日 (金) 12:00 まで)

右のQRコードからお申し込みいただけます。

※本学学生、教職員の方は事前のお申し込みは不要です。

※聴講は、本学学生が優先となりますため、ご入場を

お断りする場合がございます。何卒ご了承ください。

お問い合わせ／東京音楽大学ピアノ研究室

E-mail: piano@tokyo-ondai.ac.jp



※授業履修者はホール前方に着席してください。



Elisso Virsaladze (本学特任教授)

トビリシ (グルジア) の芸術一家に育ち、ピアノの手ほどきを祖母であり名教師のアナスタシア・ヴィルサラゼから受ける。コンセルヴァトワール卒業後、モスクワに移り住み、そこでH.ネイガウス、Y.ザークに学んだ。20歳のときにチャイコフスキー・コンクールで第3位を受賞し、24歳のときにはシューマン・コンクールで優勝した。

ピアノの教育者としても確固たる存在で、コンクールにおいても秀でた生徒を輩出している。モスクワ音楽院、ミュンヘン音楽大学で教授として教えるかたわら、ブリュッセルでのエリザベート王妃、サンタンデル、チューリッヒでのゲーザ・アング、テルアビブのルービンシュタイン、そしてモスクワでのチャイコフスキー、リヒテルなど著名な国際コンクールに審査員として招かれている。

ロンドン、ミラノ、ローマ、パリ、リスボン、ベルリンやバルセロナで定期的に公演し、ヨーロッパの主要都市でナターリヤ・グートマン (チェリスト) と演奏活動を行う。フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、スイス、日本、米国などの国々で著名なオーケストラともしばしば公演し、これまでに、R.バルチャイ、K.コンドラシン、R.ムーティ、K.ザンデルリング、W.サヴァリッシュ、E.スヴェトラーノフ、Y.テミルカーノフ、A.ヴィットなどといった指揮者と共演している。またライブ・クラシックスの数々のレコーディングを行う。

TCM